

取組名	組織活動の充実（熱中症の未然防止及び生徒会によるケガMAPの作成等）		
特徴	生徒による安全活動の推進と、地域・保護者の協力を得た取組		
学校名	柳井市立柳井西中学校	期日	平成30年9月9日（日）

1 ねらい

- 教職員と地域・保護者が連携・協働することにより、学校教育活動における生徒の熱中症の未然防止を図る。
- 安全に関する自主的な生徒会活動の推進を図る。

2 概要

（1）熱中症の予防についての研修会の開催

- ・ 養護教諭を講師とした研修会を開催し、職員・生徒とも熱中症についての知識を深めた。また、発症時の応急処置の方法や、連絡・指示系統などの確認などの対応についてシミュレーションを行った。大型ミストを購入し、生徒玄関に設置・稼働させた。
- ・ 生徒に対しても、熱中症の予防についての知識を高めるため、保健体育科教員や養護教諭による授業を行った。（全校集会）



生徒玄関に設置された大型ミスト装置

（2）専門的な知識や技能をもつ保護者や地域の方の協力を得た取組

- ・ 看護師や救急救命士として現場で活躍されている保護者や地域の方に協力を依頼し、養護教諭のスキル向上のための研修会の実施や、体育祭当日の救護係の補佐・アドバイザーとして活動していただく体制を構築した。

（3）保健委員会生徒を中心とした「ケガMAP」作成、「安全点検」の実施

- ・ 保健委員会が全校生徒を対象に校内の危険箇所やケガをした場所のアンケートを実施。その結果を1枚のマップにまとめ、ケガの未然防止を呼びかけた。また、アンケートで明らかになった危険箇所は委員会生徒で修繕を試みている。
- ・ 保健委員会生徒による定期的（二か月に一度）な安全点検を実施し、その結果を翌月の全校集会で発表している。
- ・ 保健委員会生徒による活動として、熱中症警戒レベルの掲示物を作成し、生徒玄関に掲示し、熱中症の危険度が一目でわかるように工夫した。



保健委員会生徒作成の「西中ケガMAP」

3 成果と今後の課題等

熱中症予防に関する知識や技能を教職員・生徒が身に付けるとともに、専門的な知識や技能のある方の支援を受ける事により、養護教諭のスキルアップが図られたと同時に熱中症発症時における組織的な対応を展開することができた。また、ここで受けた支援をきっかけに、生徒の安全に対する意識が高まり、校内の危険箇所マップの作成や安全点検など、生徒による自主的な活動の展開につながった。さらに生徒の視点からの危険箇所の発見や生徒自身の修繕活動を通して、危険予測・危険回避の意識が高まった。

教職員・生徒の安全意識や危機意識の高揚を図るため、専門的な立場からの支援がこれからさらに必要になってくると思われる。